

Graduation Policy (G P)

| | |
|---|------------|
| 記入者氏名 | |
| 記入年月日 | 2006年4月1日 |
| 学部・研究科名 | 医学部 |
| 学科・専攻等名 | 保健学科 看護学専攻 |
| コース等名 | |
| 細分名 | |
| 医学部・保健学科の教育目的(具体的に記述・箇条書き) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の変化に対応できる人材の育成 2. チーム医療の一員として活躍できる人材の育成 3. 医療チームの学問体系の確立に貢献できる人材の育成 4. 医療の国際化に対応できる人材の育成 5. 地域医療の向上に貢献できる人材の育成 | |
| 医学部・保健学科の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の要請に柔軟に対応する共通教育コースカリキュラムで学習し、幅広い教養を持った医療の担い手として社会の変化に対応できる基本的能力を身につけている。 2. 臨地実習での学習により、チーム医療の一員として活躍できる能力を身につけている。 3. 医療チームに参加する多職種の役割を理解し、医療関係者との円滑なコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 4. 共通教育でのTOEICと専門課程でお医療英語や基礎的な医療英会話を学習し、実践的英語能力を養い、医学・医療の国際化に対応できる能力を身につけている。 5. 学生サークル活動やボランティア活動への参加により、豊かな人間性を持った社会性のある医療人として基本的な能力を身につけている。 6. 国家試験に合格する医学・看護及び検査技術の知識と技術水準を身につけている。 | |
| 看護学専攻の教育目的(具体的に記述・箇条書き) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の尊厳を理解し、人権を尊重した倫理観と行動力を備えた看護職者を育成する。 2. 人々の健康に関する諸問題を科学的根拠に基づいて的確に判断し、解決できる能力を育成する。 3. 社会状況の変化を的確に捉え、先進的な医療に対応できる柔軟な思考力と責任遂行能力を養う。 4. 多様な文化・価値観を理解し、国際的な視野から健康問題を判断し、国際社会で活躍できる基盤を育成する。 5. 保健・医療・福祉の角度から健康問題を総合的に捉え、多職種と強調して活動できる能力を育成する。 | |
| 看護学専攻の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 急速に進歩している医療・看護の状況を正しく理解し、安全で適切な看護を提供するための基礎的な能力を身につけている。 2. チーム医療を担う一員として、他の職種の役割を理解し、協力関係を築き、発展させる能力を身につけている。 3. 看護学を確立し、発展させることができるように、看護研究に必要な基礎的な能力を身につけている。 4. 世界レベルの健康問題について認識できるように、語学を含む基礎的な能力を修得している。 5. 地域の保健・医療のニーズに合った活動を計画・遂行する手法を身につけている。 | |